

# みんなで築こう 人権の世紀

考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心



加太小学校3年  
坂 彩紗さん



亀山中学校3年  
岡安 真優さん



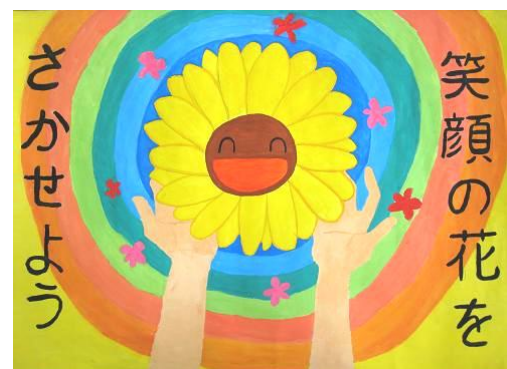
川崎小学校2年  
西村 翔太さん



白川小学校1年  
鳥居 栄翔さん



中部中学校2年  
小林 綾音さん



亀山東小学校5年  
尾崎 遥さん

# ヒューマンフェスタin亀山

2011年12月3日(土)、亀山西小学校体育館において、「第7回ヒューマンフェスタ in 亀山」を開催しました。今回も約400名の方にご来場いただき、大変盛り上がりました。

午前11時30分に開場し、体育館の広いスペースを使い、ワンフロアで様々なブースやイベントを楽しんでいただけるようにしました。亀山みそ焼きうどん・手作りパン等の軽食販売、K-LMC バンドによる演奏、三重徳風学園からはネイルアートやセラピー犬とのふれあいブース、市内小中学生



による人権習字やポスターの展示、各種活動団体による活動報告ブース、缶バッジ作り、クイズ、パズル、人権ぬりえなどを行い、楽しみながら人権を感じていただける内容のものにしました。



午後1時からは開会式のあと、中学生による人権作文『言葉の暴力』の発表、市内在住外国人のイスラム・ディダルさんによる『日本の生活について』と題したスピーチ、テレビプロデューサーとして活躍されている栗原美和子さんによる「差別のない社会を目指して～『橋はかかる』～」と題した講演会を行いました。

中学生の作文は、自分自身や友達の受けた「言葉」による辛い体験を語りながら、普段何気なく使っている「言葉」の大切さと今後への前向きな気持ちが表現されていて、考えさせられる内容となりました。ディダルさんのスピーチは、出身国であるバングラデシュと日本との文化の違いについて語られ、外国人からみた日本の様子など、興味深い内容のものでした。栗原さんの講演会は、夫で猿まわしの村崎太郎さんが被差別部落出身ということから、出会い・結婚生活を通して、差別に立ち向かって行くことの過酷さや家族の絆について熱く語られ、涙を浮かべて聞き入っている方が多くみえました。講演会のあとには栗原さんによるサイン会を設けたところ、多くの方が押し寄せ、栗原さんのお話の影響を感じました。





# 誰もが安心して暮らせる社会を！！

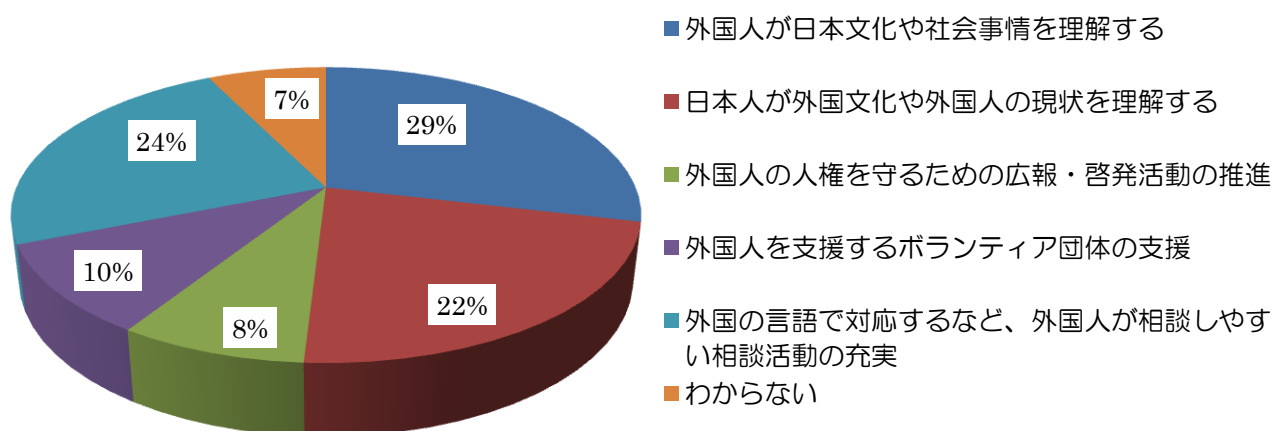
2012年当初の亀山市の外国人住民の数は2000人を超え、市の人口に占める外国人比率は4.4%になっています。つまり、市民の約22人に1人は外国人となっています。外国人の国籍で多いのは、第1位がブラジル、第2位が中国、第3位がフィリピンです。国籍総数は30カ国です。このような状況の中、本市では、外国人の日本語を習得する機会の提供や多言語での行政・教育・福祉に関する情報を提供し、安心して暮らせるための取り組みを進めています。外国人も、地域の生活に適応し、なじんでいる所も増えてきています。

平成23年度実施した市民意識調査から様々な状況がみえてきました。その一つに、外国人の生活や文化の「ちがい」を認め尊重するのではなく、「日本の文化に溶け込むべきだ」という考え方があります。また、「色々な文化を知る機会があっいいい。」等です。あなたはごどう思いますか？

今、必要とされていることは、誰もが安心して暮らせる社会を築くために、互いの人格を認めあい尊重することであり、これからの私たちの生活に必要なことだと考えています。

Q：外国人住民に対する意識について、あなたの考え方はいかがですか？

## 外国人住民の人権課題解決のために最も必要であると考えられることは？



【平成23年度「亀山市人権に関する市民意識調査」より】

人権を考える出発点を、私たちの社会、暮らし、日常的な人間関係などを「人権」という視点で捉えなおしてみませんか？誰かの問題ではなく、自分のこととして、共に学んでいきましょう！！

2011年度「人権」に関する絵画・ポスター募集へのご応募ありがとうございました。



平成23年の夏に募集いたしましたところ、今年度もたくさんのご応募をいただきました。

作品は12月の「第7回ヒューマンフェスタ in 亀山」で展示しました。多くの方に見ていただくことができ、人権啓発に大きな効果がありました。

来年度もたくさんのご応募をお待ちしております。

# ちょっと考えてみよう！！

## 【わたしのものさし】

(○△×)

- 1 駅に車イスの設備がないのはしかたがないと思う。
- 2 点字ブロック上の自転車は、行政が撤去すべきだと思う。
- 3 採用面接時に出身地を聞くことはルール違反だと思う。
- 4 親が子どもの結婚相手の身元を調べるのは自然だと思う。
- 5 家族の同意があってこそ幸せな結婚ができると思う。
- 6 日本の習慣に合わせるよう外国人も努力すべきだと思う。
- 7 外国人に部屋を貸したくない大家さんの気持ちも分かる。
- 8 外国人向けの標示や案内をもっと設置すべきだと思う。
- 9 老後の生活は自己責任だと思う。
- 10 女子が男子といっしょに野球をするのは違和感がある。
- 11 お茶の用意を女性がしがちなのはおかしいと思う。
- 12 家事の分担は家庭によって様々でいいと思う。
- 13 場合によっては我が子に手をあげることも必要だと思う。
- 14 電車内には妊婦や高齢者専用の座席を用意すべきだと思う。
- 15 最近の若者のマナーはなってないと思う。

これらのことは、話し合いのための資料です。

なにが○・△・×なのか答えはありません。いろいろな考えを出し合って人権感覚を磨いていただけたらと思います。

あらゆる差別のない明るい社会を築いていくためには、私たち一人ひとりが毎日の暮らしの中で人権感覚を磨いていく必要があります。